

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。  
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
どよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

### ■実施日

平成 22 年 7 月 26日 (月) ご依頼分より

### ■新規実施項目

|      |  |
|------|--|
| 検査項目 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● アルドステロン/レニン活性比</li> <li>● アルドステロン/レニン定量比</li> </ul> |
|------|--|

### ■新規項目内容一覧

| 項目コード<br>(統一コード) | 検査項目               | 検体量               | 容器          | 保存<br>(安定性) | 所要<br>日数 | 実施料<br>判断料            | 検査方法                                     | 基準値<br>(単位) | 備考 |
|------------------|--------------------|-------------------|-------------|-------------|----------|-----------------------|--|-------------|----|
| 6357 1           | アルドステロン<br>/レニン活性比 | 冷却遠心<br>血漿<br>0.8 | C<br>↓<br>X | 絶凍<br>(1ヵ月) | 3~5      | 140<br>+<br>110<br>※4 | アルドステロン：<br>RIA固相法/<br>レニン活性：<br>RIA2抗体法 | 次ページ参照      |    |
| 6358 8           | アルドステロン<br>/レニン定量比 | 冷却遠心<br>血漿<br>1.0 | C<br>↓<br>X | 絶凍<br>(20日) | 5~7      | 140<br>+<br>115<br>※4 | RIA固相法                                   | 次ページ参照      |    |

- アルドステロン/レニン活性比
- アルドステロン/レニン定量比

原発性アルドステロン症のスクリーニング検査です。

原発性アルドステロン症は、アルドステロンの過剰分泌により、高血圧、レニン分泌の抑制、低カリウム血症、代謝性アルカローシスなどの症状を呈する疾患で、脳、心血管、腎臓などの臓器障害を合併することが多いため、早期発見の重要性が指摘されています。

従来は稀な疾患とされていましたが、高血圧患者の約3～10%程度が原発性アルドステロン症であるとの報告があります。

このたび受託開始いたします本項目は、「高血圧治療ガイドライン2009」\*において、未治療例、コントロール不良例を含める高血圧患者を対象としたスクリーニング検査として位置づけられております。

★測定にあたっては、採血時刻、体位、薬物などの影響がありますので、詳細はガイドラインを、ご参照ください。

▼関連する主な検査項目

- アンジオテンシンⅡ
- NT-proBNP

- 原発性アルドステロン症
- 高血圧症
- メタボリックシンドローム

▼検査要項

| 検査項目名     | アルドステロン/レニン活性比                   | アルドステロン/レニン定量比                   |
|-----------|----------------------------------|----------------------------------|
| 項目コード No. | 6357 1                           | 6358 8                           |
| 検体量       | 血漿 0.8 mL                        | 血漿 1.0 mL                        |
| 容器        | C→X                              | C→X                              |
| 保存方法      | 必ず凍結保存してください                     | 必ず凍結保存してください                     |
| 所要日数      | 3～5日                             | 5～7日                             |
| 検査方法      | アルドステロン：RIA固相法<br>レニン活性：RIA2抗体法  | RIA固相法                           |
| 基準値（単位）   | 下記参照                             | 下記参照                             |
| 検査実施料     | 140+110点<br>（「D008」内分泌学的検査の11と7） | 140+115点<br>（「D008」内分泌学的検査の11と8） |
| 検査判断料     | 144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）               | 144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）               |

▼基準値

|         |   |                |       |
|---------|---|----------------|-------|
| アルドステロン | 随時 35.7～240<br>臥位 29.9～159<br>立位 38.9～307 (pg/mL) |                |       |
| レニン活性   | 臥位 0.3～2.9<br>立位 0.3～5.4 (ng/mL/hr)               | アルドステロン/レニン活性比 | 200以下 |
| レニン定量   | 随時 3.2～36<br>臥位 2.5～21<br>立位 3.6～64 (pg/mL)       | アルドステロン/レニン定量比 | 40以下  |

●臨床的意義参考文献

高血圧治療ガイドライン2009：103～105，2009.